

水稲採種現地指導会が開催されました。

7月3日（土）に JA 佐久浅間水稲採種部会の現地指導会が立科町で開催されました。

種子生産においては、遺伝的な純正性および生理的な優秀性を兼ね備えているものが優良な種子となります。このため、生産者は栽培管理に加え、種子の使用者、さらには消費者まで意識して水稲種子生産に取り組んでいます。

現地指導会では当センター担当者が栽培管理のポイントを中心に説明しました。全5会場で開催し、気候に合わせた栽培管理のポイント等、活発に質問が出され種子生産への熱意が伝わってきました。

今後、当センターでは8月上旬に第1回目の圃場審査、8月下旬に異系抜き講習会、9月上旬に第2回目の圃場審査、また、収穫後には生産物審査を実施して優良な種子生産を支援してまいります。



現地指導会の様子